

令和5年度「森と湖に親しむ旬間」実施要綱

1. 目的

国民に森と湖に親しむ機会を提供することによって、参加者の心身をリフレッシュするとともに、森林、ダム、河川等の重要性について、国民の関心を高め、理解を深めることを目的とする。

2. 期間

令和5年7月21日（金）～7月31日（月）

3. 主催

農林水産省、国土交通省、独立行政法人 水資源機構、都道府県、市町村

4. 後援（予定）

内閣府、日本放送協会、一般社団法人 日本新聞協会、一般社団法人 日本民間放送連盟

5. 協賛（予定）

公益社団法人 日本河川協会、一般財団法人 国土技術研究センター、
一般財団法人 河川情報センター、公益財団法人 河川財団、一般財団法人 日本ダム協会、
一般社団法人 ダム・堰施設技術協会、一般財団法人 ダム技術センター、
一般財団法人 水源地環境センター、全国治水期成同盟会連合会、
一般社団法人 全国治水砂防協会、一般社団法人 建設広報協会、全国建設弘済協議会、
公益社団法人 国土緑化推進機構、一般社団法人 日本治山治水協会、全国森林組合連合会、
一般社団法人 全国森林土木建設業協会、一般社団法人 日本林業協会、
一般社団法人 日本林業土木連合協会、一般社団法人 全国木材組合連合会、
一般社団法人 日本森林技術協会、一般財団法人 日本森林林業振興会

6. 行事等の実施主体等

（1）実施主体

農林水産省、国土交通省、（独）水資源機構、各地方公共団体、マスコミ関係機関、民間企業等の主催や協力により各種行事、情報発信、広報活動等（以下「行事等」という。）が実施されるよう調整する。

（2）実施場所

全国各地の森林、全ての管理中のダム（国・機構・都道府県）及び可能な限り多くの利水ダムにおいて行うことを目標とする。

7. 実施内容等

(1) 行事実施の考え方

水と緑に恵まれた自然豊かな森と湖に集い、自然環境に親しみ、人と人との交流を深め、やすらぎやうるおいを感じてもらうことを通して森と湖の大切さを理解することを目的に、全国各地の水源地域等において各種行事、広報活動等を実施すること。

(2) 実施内容

- ア. 森林、ダム、湖沼の美しさ、快適さを享受するための行事等の実施
- イ. 森林、ダム、湖沼に対する理解、関心を深めるための行事等の実施
- ウ. 森と湖のある上流水源地域住民と下流都市地域住民との交流
- エ. WEB等による森林やダムの情報発信等の実施
- オ. その他

(3) 実施に当たっての留意事項

- ア. 地方整備局等と森林管理局、都道府県土木部局と林務部局とがそれぞれ十分連絡の上、水源地域市町村とも調整し、円滑に行事等が実施されるようにすること。
- イ. 森と湖に親しむ旬間の趣旨を踏まえ、森林、ダム、河川等の重要性について、国民の関心を高め、理解を深める行事等、効果的な広報に努めること。
施設見学会などのイベントを開催する場合には、事故防止等の対策を講じること。
- ウ. 行事等に関わる費用の支出については、国民の視点に立った効果的、効率的なものとなるよう、心掛けるものとする。
- エ. 本旬間に実施される行事に、より多くの国民に参加してもらえよう、下記の統一標語、シンボルマーク等を活用して本旬間の主旨、行事予定について事前に広報を行うこと。
- オ. 「森と湖に親しむ旬間」に引き続き、「水の日（8月1日）及び水の週間（8月1～7日）」に係る行事、活動が全国的に展開されることから、相互の連携により、より広く国民に情報発信する機会になると考えられるため、その旨ご配慮願いたい。

- 呼びかけ統一標語

ふれあいさわやか 森と湖

もう一つ ふるさと見つけた 森と湖

さわやかな 心のオアシス 森と湖

- 統一シンボルマーク (右図)



以 上